

＜対策のポイント＞
園芸作物等について、需要の変化に対応した新品目・品種、省力樹形の導入や栽培方法の転換、技術導入の実証等の競争力を強化し産地を先導する取組を支援します。

- ＜政策目標＞
- 果実の生産量の拡大（308万t〔令和12年まで〕）
 - 茶の生産量の増加（9.9万t〔令和12年まで〕）、茶の輸出額の増加（312億円〔令和7年まで〕）
 - 花きの産出額の増加（4,500億円〔令和12年まで〕）

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 果樹対策
- ① 改植・新植、未収益期間の幼木管理支援
省力樹形や優良品目・品種の導入（改植・新植と一体的に行う雨よけ設備等の設置を含む）、未収益期間の幼木管理経費を支援します。また、自園地を省力樹形に一齐改植し、成園までの間は代替園地で営農を継続する取組を支援します。
- ② 小規模園地整備、設備、高温対策資材の導入支援
園内道の整備、用水・かん水設備、防霜ファンや多目的防災網等の設置を支援します。また、遮光ネット等の高温障害の発生低減に向けた資機材の導入を支援します。

2. 茶対策
- ① 改植・新植、未収益期間の幼木管理支援等
優良品種への改植・新植、有機栽培・てん茶への転換、未収益期間の幼木管理、防霜ファンの導入、農業機械等のリース導入等を支援します。
- ② 茶関連産業等と連携した新形態の大規模茶産地モデル形成支援
茶生産の担い手・茶工場・実需者が一体となり、生産性向上、労働力確保、茶工場の省エネ化等の課題に対応する産地モデルを形成する取組を支援します。
- ③ 化石燃料のみに依存しない新たな茶加工技術の検討・実証支援
茶工場における燃料使用量の削減に向けた新たな茶加工技術の検討・実証の取組を支援します。

3. 花き対策
- 需要回復が見込まれない花き品目から需要がある品目・品種への転換に必要な技術実証・展示、栽培環境整備や農業設備の導入等を支援します。



＜果樹＞

省力樹形の導入
(例：りんごのツールスピンドル)

多目的防災網や遮光ネットの設置

短期間で園地全体の省力樹形への転換を実現

改植前 改植時 5年後

園地全体を改植

成園化するまでの間は代替園地で営農 (単価56万円/10a)

一齐改植のイメージ

＜茶＞

優良品種への改植

てん茶栽培への転換

＜花き＞

新規品目・品種の導入

新規品目・品種生産に適した設備の導入

【お問い合わせ先】
(1、2の事業) 農産局果樹・茶グループ (03-6744-2117)
(3の事業) 園芸作物課 (03-6738-6162)